

## 長井トライアスロン大会

平成 24 年 7 月 8 日

参加者 103 名

総 合	2:12:09 (1 位)
スイム (1km)	14:09 (1 位)
バイク (50km)	1:19:13 (1 位、1 位通過)
ラ ン (10km)	38:47 (4 位)

天候：曇のち晴

気温：27℃

本大会はプールで 1km 泳ぎ、バイク 50km、ラン 10 km の変則的な距離の大会である。スタンダードな大会 (S1.5km - B40km - R10km) に比べ、バイク競技が重要視されるレースである。昨年 2 位という成績であったため、今回は優勝を狙っていた。

国体予選の次週ということもあり、多少の疲労もある中のレースであったが、リラックスして臨めた。

いつものように、大会会場入りしてからスポーツクリーン、ライニガーで金属部分の汚れを綺麗に落とし、ルーベンスピードで変速機能部分を中心に表面をコーティング。ここでいつもの変化をつけた。今回は雨の心配もなく、前から試してみたいと思っていたケミカル、『ナチュラルバイクルーベ』をチェーン一個ずつ丁寧に塗布した。



塗布後、ペダルを前後に回転させた。『ルーベエクストリーム』程ではないが、その回転音のスムーズさは折り紙つきで、ホルメンケミカル使用前のものよりも遥かにナチュラルに回転できる。余分な油はケアフリースでふき取り、仕上げにダートプロテクターを吹き付けた。

レースはスイムをプールで行うことから一度には実施できないため、103 名を 3 つの組に分けて行われた。私は第 3 ウェーブ。

スイムを昨年よりも 1 分縮め、ラップ 1 位でバイクに移ることができた。バイクは 10 km の周回を 5 周するコース。1 周の内前半に緩やかな上り続き、後半はほぼ下り基調のコースである。

本大会には過去 3 回出場経験があるが、時間が経つにつれて前半の向かい風がきつくなってくる。過去 3 回は 1 週目から突っ込みすぎたことで残りが弛んでしまった

こともあり、今回はできるだけ「突っ込みすぎず、抑えすぎず、後半に力を発揮」を念頭に50kmを走った。



案の定、風は周を重ねるごとに強くなったが、それとともに自分のテンションも上げていくことができ、結果として自己最高のタイムとバイクラップ1位をとることができた。

作戦を立ててそれを実行できるようになってきたのも、絶対的な信頼を寄せられるホルメンケミカルがあってこそのことであると思う。ナチュラルバイクルーベにおいては、レース中のギアチェンジの際に嫌な金属音がすることがなく、ストレスを感じずに走ることができた。本レースで、ナチュラルバイクルーベも大変信頼をおけるケミカルであると感じた。



バイク終了後のランでは徐々に気温も上がってきたこともあり、苦しいものとなったが、バイクでのアドバンテージにより優勝のゴールテープを切ることができた。

トライアスロン大会での優勝は2010年の釜石はまゆりトライアスロン国際大会以来であり、やはり嬉しいものであった。この調子で次レースにも挑んでいきたい。



表彰式

以上

岩瀬 努